

令和5年度第1回大田区再犯防止推進会議 議事録

《日時》 令和5年11月1日（水曜日）午前10時から11時30分

《会場》 大田区役所本庁舎2階 202～203 会議室

《議事》 大田区の再犯者に係る状況
大田区再犯防止推進計画における重点課題と取組み
(令和4年度実績報告)
意見交換

《参加委員》

大田区再犯防止推進会議委員

大田区保護司会	会長
大田区保護観察協会	会長
大田区更生保護女性会	会長
大田区BBS会	会長
大田区自治会連合会	会長
大田区社会福祉協議会	会長
大田区民生委員児童委員協議会	会長
大田区青少年対策地区委員会会長会	会長
おおた社会福祉士会	会長
おおたTSネット	代表

庁内連携部署

総務部	総務課長 人権・男女平等推進課長 経理管財課長 防災危機管理課長 生活安全課長
地域力推進部	青少年健全育成担当課長
福祉部	障がい者総合サポートセンター所長 子ども生活応援担当課長 高齢福祉課長 自立支援促進担当課長
健康政策部	生活衛生課長
まちづくり推進部	住宅担当課長
教育総務部	指導課長 教育センター所長

《資料》 大田区の再犯者に係る状況

進行：

1 委員長選出

委員の互選により、大田区保護司会会長を委員長として選出した。

2 議事要旨

大田区内の再犯者に係る状況について、令和3年の数値をもとに事務局から説明があった。

つづいて、大田区再犯防止推進計画における重点課題と取組みについて、令和4年度実績を庁内連携部署の参加管理職から報告があった。

その後、参加委員と意見交換を行った。

《主な意見》

- ・大田区保護司会では、平成29年以降、毎月第3水曜日に保護観察所主導のもと、薬物回復プログラムを実施している。おおた社会福祉士会や自助グループにも協力いただいている。薬物事犯の再犯率が非常に高いため、引き続き同プログラムを推進していく。
- ・同プログラムは非常に良い取組である。持続可能なものとするために、区においても助成や事業として担っていただきたい。
- ・なぜ再犯を犯してしまうのか、具体的なデータを展開してほしい。
- ・空き家などを有効に活用できるか検討してほしい。
- ・再犯が起こる起因はさまざま。どのように防ぐか、再度熟慮しなければいけない。
- ・報告資料の提示は問題の再認識ができるので大変参考になった。
- ・計画を推進するにあたり、組織1つでは不可能。一同に会して話題を教諭し、優先順位を決め、連携・協働・協調を意識し、持続的にやっていく必要がある。何が実践できるかを踏まえた計画であるべき。
- ・情報モラル教育の推進について、若い世代のゲーム依存という観点からもどのように対応するべきか、共に考えていただきたい。
- ・「依存」ということばは悪いイメージがあるが、人に頼ることも依存だといえる。ワードだけを切り取るとそういった認識も持ちうる。
- ・人権教育、権利擁護といった意識が育むような命を大事にする内容の教育を推進してもらいたい。